

防犯専門官

山田 やまだ

英明 ひであき

少年の非行防止について

誰しも、次代を担う子どもたちが明るく健やかで健全な精神を持った大人に育って欲しいと願っていると思います。

警察の統計では、非行少年は減少傾向にあります。犯罪を繰り返す少年は高止まりの傾向にあり予断を許さない状態になっています。子どもの非行を防ぐには、早い時期に適切な措置をとることが、重要となります。

非行のきざし

よく飲酒や喫煙は非行の「サイン」といわれていますが、少年が非行に走るときには、飲酒や喫煙以外にもいろいろな兆候があらわれるようです。次のようなことに気がついた



ときは注意しましょう。

- ・金づかいが荒くなり、親の財布からお金をとったり、うそをついてお金を要求したりするようになる。
- ・いつもイライラして、家族に乱暴したり口答えをしたりする。
- ・行き先も言わずに外出したり、帰宅時間が不規則になり夜遊びや外泊が多くなったりする。
- ・学校へ遅刻したり不眠の休みが多くなり、成績も急に下がってくる。

刃物などの凶器類やライターを持ち歩くようになる。

- ・これまで一緒だった友だちと行動しなくなり、素行の悪い友だちと行動することが多くなる。
- ・制服を規定外のスカート丈にしたり、ピアス、アイシャドウ、口紅、マニキュアなどの化粧をする。また髪を派手な色に染める。

万引き

万引きは、非行の入り口、いわゆるゲート・ウェイと言われています。それだけに、初期の段階できちんとやめさせることが大切です。

- ・家庭でも「万引きは犯罪である」ことをしっかり教えます。
- ・集団で万引きすることが多いので、友人関係での言動に十分注意しましょう。
- ・家庭では、子どもの持ち物（特に衣類、文房具、化粧品、菓子類）に気をつけ、買い与えた覚えのない衣類や品物を持っていたら確か

めましょう。

暴力団へのゲート・ウェイ

暴力団は、組織を維持あるいは拡大するため、少年を暴力団に引き入れようと狙っています。そこで狙われやすいのは、非行少年や暴走族に入っている少年です。なぜなら、暴力団は違法行為を行って活動資金を得ている集団であるからです。非行経験のない少年を引き入れて違法行為をさせようとしても躊躇して失敗するおそれがあります。そこで違法行為に抵抗感の薄い非行グループや暴走族に入っている少年を即戦力として引き入れようとするのです。このようなことから万引きが非行のゲート・ウェイなら、少年非行は暴力団へのゲート・ウェイといえます。非行問題の解決には、家庭だけでなく、学校や地域社会全体で取り組むことが重要です。

コミュニティ無線をとおしてのJアラート試験放送を実施します

緊急時にJアラート（全国瞬時警報システム）の情報コミュニティ無線で正常に放送できるかを確認するため、全国一斉に実施される試験放送を本市においても下記の日程のとおり実施します。皆様のご理解とご協力をお願いします。

放送日時	8月29日(水)	午前11時
	11月21日(水)	午前11時
	2月20日(水)	午前11時



放送内容 「これは、Jアラートのテストです」を3回くりかえし放送し、「こちらは太宰府市です」を1回放送します。

※一斉訓練の状況に応じて、中止または延期される場合があります。

問い合わせ 総務部 防災安全課 ☎内線 519・549